

# ネイチャー・ウォーク

平成 30 年 1 月号  
2018. 1. 28 発行  
(通巻第 289 号)

ECO  SAITAMA 公益財団法人 埼玉県生態系保護協会

：部会：自然を歩く会

■先月のネイチャーウォーク

## 北区・荒川スペシャル

(JR 埼京線 赤羽駅～荒川知水資料館)



35 名の参加がありました

2017 年最後のネイチャーウォークは埼玉県を出て、東京都の北区・荒川スペシャル。

少し、風は強めでしたが、快晴の抜けるような青空に恵まれ、絶好の歩き日和。

今回は 35 名の参加がありました。

都市部を抜けて、最初の目的地は赤羽自然観察公園。かつては自衛隊の駐屯地でしたが、今では、かつてこの近辺で見られた

本来の自然を復元し、身近に観察できるように整備された公園となりました。

公園内にある古民家で一休み。この古民家の歴史についてもお伺いしました。かまどに火を点し続けることで、虫よけ等になる古い時代の知恵に、驚きの声があがりました。

自然観察公園の後は、赤羽緑道公園を歩きます。緑道公園沿いではたくさんの鳥たちの銅像が出現。本物の鳥との違いについての話題で盛り上がりました。



古民家で一休み



古民家の解説をお伺います



オナガの銅像



風がなければ最高という声も・・・。

荒川の川沿いでお昼休み。少し風が強めなことあってか、風よけになる低木の脇が人気スポットに。

今回は、5名の方に Walk 認定証が贈られました。表彰式では、元気いっぱいの小さな参加者にもご協力をいただきました。



少し寒いこともあってか、早めにお昼休みを切り上げて、子どもビオトープへ。

ビオトープにたたずむカワセミたちの美しい姿を、しばし堪能することができました。



旧岩淵水門前

続いて、最終目的地の荒川知水資料館を目指します。

旧岩淵水門前には、過去の水害で、どれだけ水位が上がったのかを示す標識があり、過去の水害の大きさに驚きの声があがっていました。

荒川知水資料館に到着。館内スタッフの説明をお伺いしながら、展示を見て回ります。



知水資料館のコウノトリ展示



水害模型で水害をシミュレート

館内の展示の中では、関東でコウノトリと暮らせるようにすることを目指す取り組みについての展示に、特に注目が集まりました。埼玉県生態系保護協会もコウノトリが暮らすことのできるまちづくりを目指して頑張っています。

そのほか、水害による被害をシミュレーションする模型にも注目が集まりました。何度も実験をしましたが、建物を流す方が目的になっていたかも？



最後はみんなで記念撮影です。

2018年も、ネイチャーウォークをよろしくお願いいたします！！